



東実(育友会広報誌)

R8 年度 No.1(第121号)

2026 年 7 月

◆編集発行

岐阜県立東濃実業高等学校

育友会文化広報委員会

◆責任者 育友会会長 名倉さおり



「地域に愛される学校を目指して」 育友会会長 名倉 さおり

このたび、育友会会長を務めさせていただくことになりました。
どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より、本校の教育活動ならびに、育友会活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では、様々な特色ある授業を通して専門的な知識や技能を身に付けるだけでなく地域とのつながりを大切にした学びや活動にも積極的に取り組んでいます。また、その学びを活かす場として、生徒たちが地域に貢献し、多くの方々と交流を通して成長していく姿を、大変心強く感じています。さらに部活動でも、仲間と切磋琢磨しながら、目標に向かって努力を進める姿は、大変誇らしくも感じます。育友会としても学校と連携し、生徒一人一人が安心して学び、自らの夢や目標に向かって挑戦できる環境づくりを支えてまいります。保護者の皆様とともに、生徒たちの成長を見守り、地域に愛される学校づくりに努めてまいります。

一年間、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



「地域とともに、志を高く。RISE 東実が動き出す」

校長 中澤 正仁

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動および育友会活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本校は、百年を超える歴史と伝統を礎に、地域とともに歩む専門高校として歩み続けてまいりました。今年度、本校が掲げるスローガンは「RISE 東実」です。これは、Region(地域)・Innovation(革新)・Spirit(志)・Empower(自立)の頭文字に込めた、『生徒一人一人が地域に根差し、自ら考え、挑戦し、未来へ羽ばたく力を育む』という強い想いの結晶です。

変化の激しい現代社会において求められるのは、知識や技能だけでなく、人と関わる力、素直な心、そして困難に立ち向かい、やり抜く姿勢です。学校・家庭・地域が同じ方向を向き、生徒を中心に据えた教育を進めていくことが、子どもたちの確かな成長につながります。

育友会は、学校教育を支え、子どもたちの学びと挑戦を後押しする大切なパートナーです。本年度も皆様と心をつなぐ、「RISE 東実」を合言葉として、子どもたちの未来を切り拓く学校づくりを進めてまいります。

育友会活動報告

●4/8 入会式を執り行いました●

育友会会長より、新入生の保護者の皆様に育友会の活動について説明をしていただきました。



●5/26 球技大会 活動写真記録● 『バレーボール』、『サッカー』、『卓球』の3種目にて、子どもたちの熱い戦いを撮影しました!!



祝 育友会より激励金を贈呈しました 祝
～輝かしい部活動の成績～

ボート部

6月20日21日に愛知県で行われた『第73回東海高等学校総合体育大会女子シングルスカル』に、出場しました!!



ボート部



英語スピーチ
コンテスト
出場者

箏曲部 2年連続全国大会出場!!

7月30.31日に秋田県にて開催される『第50回全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門』に箏曲部2.3年生17名が出場します!!



箏曲部



個人 2年連続全国大会出場!!

9月13日に東京にて開催される『第43回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト』に3年生活デザイン科の生徒1名が出場します!!

新入生の一言

「僕の日常」

1年1組 三輪 遥斗

東濃実業高校に入学して、もう二ヶ月が経とうとしている。僕は今とても楽しく過ごしている。

三月に中学校を卒業し、仲のいい友達とは別れ、僕は新たな環境で一人になった。入学式当日、中学校のジャージとは全く違う高校の制服を身にまとい、緊張で手に汗をにぎりながら体育館へ入った。先輩たちが盛大に盛り上げてくれたおかげで、緊張がほどけた感じがした。とはいえ、二、三日は一人で孤独だった。しかし、だんだんと友達が増え、どんどん毎日が楽しくなっていった。周りには、話しかければ、ニコニコと返してくれる仲間、挨拶すれば必ず返してくれる先生方、とても温かい学校だと実感していった。僕はこんな素敵な東濃実業高校で将来の夢を明確にし、その実現に向けて様々な検定や、日々の授業、日常生活、仲間との関わりなどたくさんのことを大切にしたい。三年後、自分がどのような大人になるのかを想像しながら、一日一日を生活していきたい。

「新しい環境の中で」

1年2組 吉田 夢希菜

私が東濃実業高校に入学して、約二ヶ月が経ち、毎日新しいことばかりで、楽しく過ごしています。入学前は、友達ができるのか、授業についていけるのか不安でした。しかし、クラスみんなが優しく話しかけてくれるため、少しずつ学校生活に慣れることができました。休み時間には、友達とたくさん話をしたり、一緒に笑ったりしてとても楽しく過ごせています。授業は、中学校より難しくなりましたが、先生方がわかりやすく丁寧に教えてくださるため、頑張ろうという気持ちが湧き、不安に思うことは少なくなってきました。また、部活動では、先輩たちが丁寧に教えてくださり、毎日の活動がとても充実しています。練習が大変な時もありますが、仲間と励まし合いながら取り組み、毎日やりがいを感じています。これからも、勉強と部活動を両立させ、多くのことに挑戦し、高校生活をもっと楽しみ、充実したものにしていきたいです。

「三年間で頑張ること」

1年3組 古田 梓真

僕が、高校3年間で頑張りたいことは、たくさんの仲間をつくり、たくさんの思い出をつくることです。

僕が小学生の時、コロナで学校に行くことができず、先生や友達と会うことができませんでした。その時、僕は今、周りにいる人たちは、いて当たり前ではない、ということに気づきました。この経験を踏まえて、周りへの感謝の気持ちを忘れず、仲間と切磋琢磨しながら生活していきたいと思います。

もう一つ、頑張りたいことがあります。それは、文武両道です。東濃実業高等学校では、検定や資格がたくさん取れます。それらを生かし、進路実現に向けて、一つでも多く取得したいです。検定や資格の勉強と共に頑張りたいのが部活動です。僕は陸上部に入部しました。初めてやる種目ですが、三年間続けて、自分が納得する記録を出したいです。勉強と部活動を両立して生活していきたいです。

「東濃実業高校での三年間」

1年4組 伊藤 永人

新しい環境に期待と不安を抱えながら入学してから、二ヶ月が経ちました。

入学当初は、友人関係や授業についていけるかなど多くの不安がありましたが、クラスメイトが気軽にたくさん話しかけてくれたり、先生方が丁寧に教えてくださるおかげで、今では、安心して学校生活を送ることができています。

授業では、中学校とは違う専門的な内容も増え、難しさを感じることもありますが、その分、学ぶ楽しさや達成感も大きいと感じています。部活動にも積極的に取り組み、仲間と協力し、考えて動くことの重要性に努力することの意味を学んでいきたいです。

これからの三年間、一日一日を大切にしながら、多くのことに挑戦し、自分自身を成長させていきたいと考えています。支えてくださる方々への感謝を忘れず、卒業の際には、「この学校に入学してよかった」と思えるような充実した高校生活を送ってきたいです。

「三年間の中で」

1年5組 日比野 叶愛

私が、この東濃実業高校に入学して、一ヶ月半ほどの月日が経ちました。4月の頃の私は、クラスには友人もいましたが、ほとんどが知らない人だったり、部活動も新たな事を始めてとても不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、クラスの雰囲気はとても明るく、話せる人も増え、不安な気持ちも少しずつ薄れてきました。部活動は、まだまだつらい事の方が多いですが、先輩方や先生方の丁寧な指導のおかげで前向きな気持ちになれました。授業でもついていけるのか不安な気持ちもありましたが、優しく何度も復習して下さる先生方のおかげで、日々取り組んでいます。

私はまだ明確な夢は持っていませんが、この東濃実業高校での三年間を通して、自分がしたいことは何であるのかを見つけ、自分で道を切り開いていきたいです。そのために私は何事にも全力で挑戦し、時間を有効活用し、最後まで諦めず、やり遂げて過ごしていきたいです。

「これから頑張りたいこと」

1年6組 小島 璃乃羽

東濃実業高校に入学し、約二ヶ月が経ちました。最初は新しい環境になかなか慣れることができず、高校生活に不安がありました。しかし、今では、友達もでき、専門的なことを学べ、毎日が楽しいと感じています。

昼食はみんなでお弁当を食べて、沢山お話しして、今まで経験できなかったことを高校生活で経験できとても嬉しいです。

私が、高校生活で頑張りたいことは、将来の夢のために知識を得て、夢を広げることです。

私は、細かい作業や物を作ることが大好きで、中学生の時から、絶対に東濃実業高校で学びたいと、強い意志をもって入学しました。そのため、検定取得を頑張る、将来に役立てたいと思います。もちろん、勉強だけではなく、学校の行事などの活動にも積極的に参加したいと思っています。この三年間、入学してよかったと思えるよう、毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。